

## 処理困難物補足資料

分類	事業エリア・保管量	状況・性状	対応の近況・方針
1.超大型変圧器及び搬出不可変圧器	東京・84,600kg トランス×3台	令和2年11月に現場解体作業に着手し、令和3年11月に作業完了。令和3年7月から順次搬入を開始し年内完了見込み。	令和3年6月14日から搬入を開始。令和4年2月9日搬入完了予定。
	東京・13,400kg トランス×2台	平成26年から搬出のための各種技術及び実施体制を提案してきたが、保管事業者において費用がないことを理由に進展していない。	令和3年11月1日に現場作業着手、令和4年3月中旬作業完了予定。随時搬入を行い、令和4年3月20日に搬入完了見込。
	北海道・12,700kg 整流器連結トランス×1台	銘板情報では高濃度品でなかったが保管事業者が油の分析を行ったところ整流器に高濃度PCBの混入が判明。	令和3年10月25日に現場作業完了。令和3年12月に付属品及びPCB油を令和4年1月に整流器本体を搬入予定。
4.その他大型機器	豊田・ブッシング部分で2台連結 8,192kg+14,129kg	工場地下に保管。搬出に向けた技術及び実施体制について提案を行ってきたが、保管事業者事情により現場作業未着手。	令和3年8月25日現場作業着手、9月30日作業完了。10月6日リアクトル本体搬入完了。令和4年1月14日搬入完了見込。
5.処理困難PCB油	大阪・低引火点成分混入PCB油 52kg	不法投棄物により汚染された土壌からの抽出油。	令和3年4月に保管事業者不存在を確定。保管事業者(行政)、環境省地方事務所、産廃振興財団で行政代執行による現場作業を実施。
	豊田・低引火点成分混入PCB油 189kg	保管事業者が低引火点成分の分離を実施中。令和3年11月に作業完了予定。	作業完了後の荷姿を確認した後事業所搬入。
	豊田・シリコンオイル及びトリクロロエチレン含有PCB油 29,441kg	R1年度120本(28,080kg)処理済み。 R2年度132本(30,888kg)処理済み。	令和3年5月17日搬入完了。
	東京・リン化合物含有PCB油 147,729kg	R1年度130本(25,741kg)処理済み。 R2年度515本(104,122kg)処理済み。	令和3年4月～6月80本(16,170kg)処理済み。 残量については全量令和3年度中に処理見込。
	東京・PCB含有感圧複写紙用マイクロカプセル原料 91,000kg(ドラム缶466本)	水分81.5%、PCB含有原液16.1%、その他2.4%。 メタンガス・アンモニアガスの発生抑制のため水酸化ナトリウム、塩酸を投入。 上層(低濃度)、中間エマルジョン層(高濃度)と底部沈殿層(高濃度)に分離。 保管事業者による仕分けが行われていたが、米国本社から新型コ	上層約45,000kgは無害化処理認定施設で処理。 PCB油(約1,500kg)と夾雑物(約40,000kg)に分離し、東京事業所と北海道事業所で各々処理。 →令和3年度に入り、予算執行に目途がつい

分類	事業エリア・保管量	状況・性状	対応の近況・方針
		<p>コロナ感染症流行を理由に予算執行停止指示が出され停滞。</p>	<p>たことから、処理検討を再開。 → 中間エマルジョン層と底部沈殿層約 42,000kg は、北海道事業所で処理。</p>
	<p>東京・鉛化合物含有 PCB 油 936kg(ドラム缶 5 本)</p>	<p>PCB 濃度 10,000mg/kg~39,000mg/kg(由来不明)。鉛が最大 8,100mg/kg 混入しており、下水道基準を超過しないよう調製が必要。</p>	<p>酢酸水溶液と混合させ PCB 油中の鉛濃度を低減する方法と、ろ過及び油吸着剤等に吸着する方法を保管事業者に提案。保管事業者により作業を検討中。 → 令和 3 年 7 月 13 日現場作業着手、8 月 5 日作業完了。搬入日程調整中。</p>
	<p>北海道・石油系ワックス等混入 PCB 油 51,150kg</p>	<p>R1 年度 11 本(2,970kg)処理済み。 R2 年度 120 本(15,462kg)処理済み。</p>	<p>令和 3 年度は PCB 油残量と固化油全量を搬入見込。</p>